医療圏別具体的対応方針等検討状況整理票

資料２－２

整理番号	区域	医療機関名	許可病床数（精神・感染症・結核除く）R3.7.1 ※1	病床機能報告による機能別病床数 ※1		施設基準の状況 R3.7.1 ※2	認定・届け出等 ※3					「公的医療機関等2025プラン」又は「医療機関2025プラン」の記載内容のうち、「自施設の現状」「今後の方針」「４機能ごとの病床のあり方について」から集約・抜粋（（プラン未作成の有床診療所については、病床機能報告の報告内容から整理） ※4			「具体的対応方針の見直し・検証」及び「構想区域全体の2025年の医療提供体制の検討」の検討結果 ※5			
				R3.7.1	R7.7.1		地域医療支援	救急医療施設	在宅療養支援	在宅療養後方支援	終末期医療	病院の特徴・役割	今後の方針	機能別病床数(2025)	変更あり	変更なし	検討中	具体的な変更内容等
1	山口・防府	柴田病院	60 一般 60	60 回復 60	60 回復 60	地ケア 25						・回復期機能を中心。	・地域における医療ニーズ（救急・リハビリ・看取り）に対応し、地域包括ケアシステムの構築や充実に取り組む。 ・地域包括ケア病床の増床を検討する。	60 回復 60	○			・機能別病床数は回復期病床60床のまま変更ないが、サブアキュート機能やリハビリ機能の充実を図るため、令和3年10月1日に、地域包括ケア病床を25床から60床に増床した。 ・急性期病院の後方支援、在宅からの入院受入れを行い、在宅復帰をめざして支援を行う地域のみなさまのための病院を目指す。 ・2025年もこの体制を継続する予定であり、引き続き、地域包括ケアシステムの構築や充実に取り組んでいく。
2	山口・防府	林病院	50 一般 20 療養 30	50 急性 20 慢性 30	50 急性 20 慢性 30	20 地ケア 20			○			・最初の入院病棟で積極的に治療を行う。 ・医療（喀痰吸引、人工呼吸等）が必要で家庭に対応できる十分な介護力のない長期療養患者の受け皿。	・地域における回復期機能を担うため、リハビリテーションを強化した地域包括病床について検討する余地があると考える。 ・リハビリテーションを強化して在宅への復帰が叶うように常に努力していく。	50 急性 20 慢性 30		○		地域包括ケア病棟に転換済みであるが、サブアキュートを主とする救急告示病院として、引き続き急性期機能を担いつつ、長期療養が必要な患者に対する慢性期機能も維持する。
3	山口・防府	山口赤十字病院	427 一般 427	427 高度 155 急性 272	377 高度 117 急性 260		○	○				・高度急性期・急性期機能を担う。	・山口市域における公的な基幹病院、地域医療支援病院として、高度急性期・急性期医療、とりわけ小児救急を含む救急医療について、持続的・安定的に提供する役割を担う。 ・脳血管疾患患者への対応、周産期医療及び女性医療、がん診療、高齢化社会に対応した医療機能などの役割を担う。	377 高度 117 急性 260		○		・左のとおり、令和4年8月に2025プランを見直し、10月に病床を削減したところであり、引き続き、今後の方針に沿って、当院の役割を果たしていく。 ・区域全体の検証については、意見等なし
4	山口・防府	佐々木外科病院	54 一般 54	54 急性 54	54 急性 54	10 地ケア 10						・急性期機能と回復期機能を担う。 ・開放型病院（開放病床6床）。	・一次救急医療機関としての体制を維持する。 ・現状のポストアキュートとしての急性期44床、それに含まれるサブアキュートとしての開放型病床6床の体制を維持する。 ・高度急性期・急性期病院と在宅をつなぐ回復期（地域包括ケア病床）の体制を強化し、在宅復帰を推進、安定化を図る。 ・予防医療の充実化として、特定検診・保健指導の効果的な実施を推進する。	54 急性 44 回復 10	○			・一次救急医療機関としての体制を維持する。 ・現状のポストアキュートとしての急性期(44床→34床)、それに含まれるサブアキュートとしての開放型病床6床の体制を維持する。 ・高度急性期・急性期病院と在宅をつなぐ回復期（地域包括ケア病床）を10床から20床に変更し、その体制を強化し、在宅復帰を推進、安定化を図る。 ・予防医療の充実化として、特定検診・保健指導の効果的な実施を推進する。 【変更後の機能別病床数(2025)】 急性期　34床、回復期20床
5	山口・防府	阿知須同仁病院	78 一般 30 療養 48	78 急性 30 慢性 48	78 急性 30 回復 48	18 地ケア 18			○			・急性期機能と回復期機能を担う。	・地域急性期の一線病院として役割を果たす。 ・基幹病院との前方、後方支援と周辺開業医との連携。 ・在宅及び関連施設との密接な入退院支援。	78 急性 30 回復 48		○		継続的な介護療養のための積極的な連携をすすめる。
6	山口・防府	小郡第一総合病院	182 一般 182	182 急性 137 回復 45	182 急性 137 回復 45	45 地ケア 45		○	○			・山口市南部、旧吉敷郡の地域中核病院として地域医療、救急医療を担っている。 ・がん・脳卒中・糖尿病では専門的な治療を行う診療機能を、急性心筋梗塞では初期診断機能を有する。 ・救急医療では山口市の病院群輪番制病院となり、山口市の二次救急の一翼を担っている。小児医療では、一般小児科・初期小児救急を担っている。 ・在宅医療では、訪問看護や訪問リハビリを行い、居宅介護支援事業所や介護老人保健施設を有するなど、在宅患者の入院の受け皿としての機能も有している。	・地域の住民の医療を守るため、地域医療、救急医療を充実させていく。また最先端の特化医療を、山口・防府医療圏だけでなく、県内及び県外の広範囲に対し提供していく。 ・病院機能と連携し、既に有している訪問看護ステーションによる他職種連携による地域包括ケアシステムの実現、併設としてある介護老人保健施設による入所、通所リハビリにより在宅介護提供体制の充実を図っていく。	182 急性 137 回復 45	○			【病院の特徴・役割】 急性期機能と回復期機能を担う。 【今後の方針】 ・山口市南部における中核病院として地域医療、救急医療を持続的に提供していく。 ・整形外科領域では、山口・防府医療圏だけでなく、県内及び県外の広範囲に対し高度な医療を提供していく。
7	山口・防府	済生会湯田温泉病院	142 療養 142	142 回復 46 慢性 96	142 回復 46 慢性 96	46 地ケア 46						・療養型病床主体の慢性期医療病院として、急性期病院や地元の開業医との緊密な連携の下、市民の健康管理に積極的に関わっている。 ・病院内に80床の特養を整備し、医療・介護を複合的に提供できる。デイケアや温泉プールを利用した訓練により、患者への質の高いリハビリ提供と同様に、外来や地域の健康福祉増進に寄与している。	・急性期病院や地元の開業医との緊密な連携の下、引き続き後方支援を行っていく。 ・地域包括ケアシステムの拠点として、地域の病院としての役割を明確にしていく。 ・訪問診療や在宅医療推進、訪問看護ステーションとの連携強化を図り、在宅復帰支援に注力していく。	142 回復 46 慢性 96		○		急性期病院や開業医との緊密な連携の下で地域における医療ニーズに対応するため、回復期（地域包括ケア病床）及び慢性期機能に特化した医療提供体制を維持し、今後も後方支援病院としての役割を担っていくため。
8	山口・防府	済生会山口総合病院	310 一般 310	310 高度 114 急性 196	279 高度 114 急性 165		○	○				・高度急性期・急性期機能を担う。	・救急医療、循環器内科・心臓血管外科等の対応を中心とした高度急性期・急性期医療、がん医療。 ・認知症、精神科の診療体制の充実を図る。	279 高度 114 急性 165		○		新病院建築に伴い、令和4年度中に病床数を310床から279床に変更済みであるため「変更なし」とした。
9	山口・防府	山口リハビリテーション病院	180 療養 180	180 回復 124 慢性 56	180 回復 124 慢性 56	124 回リハ 124						・回復期機能と慢性期機能を担う。	・地域で不足気味の回復期医療の一翼を担う医療機関として、回復期医療提供体制を維持していく。 ・長期の療養が必要な患者を受け入れる医療機関として、療養医療提供体制を維持していく。	180 回復 124 慢性 56			○	病床機能の一部変更を検討する。
10	山口・防府	丘病院	37 療養 37	37 慢性 37	37 慢性 37							・慢性期機能を担う。	・療養病床を地域の医療ニーズに適合させ、地域に密着した医療を提供していく。 ・リハビリテーションを通じてご自宅への復帰を支援する一翼を担う。 ・療養病床の再編、介護医療院について検討する。	37 慢性 37		○		介護療養病床の設置期限を2023年度末に迎えるにあたり、医療療養病床と介護療養病床の、病床数の移行計画など引き続き検討する必要があると判断した為
11	山口・防府	山口病院	79 療養 79	79 慢性 79	79 慢性 79							・長期入院療養の患者中心。	・急性期病院等から、長期で重症度（人工呼吸器等装着）の患者の受け入れを行う。 ・今後も慢性期の療養病床を維持する。	79 慢性 79		○		
12	山口・防府	山口若宮病院	173 療養 173	173 慢性 173	173 慢性 173							・慢性期機能を担う。	・急性期、地域包括ケア病棟、回復期リハの受け皿となる。 ・地域における慢性期として継続する。	173 慢性 173		○		慢性期患者の受け皿として173床を維持する。

整理番号	区域	医療機関名	許可病床数（精神・感染症・結核除く）R3.7.1 ※1	病床機能報告による機能別病床数 ※1 R3.7.1	病床機能報告による機能別病床数 ※1 R7.7.1	施設基準の状況 R3.7.1 ※2	認定・届け出等 ※3 地域医療支援	救急医療施設	在宅療養支援	在宅療養後方支援	終末期医療	「公的医療機関等2025プラン」又は「医療機関2025プラン」の記載内容のうち、「自施設の現状」「今後の方針」「4機能ごとの病床のあり方について」から集約・抜粋（（プラン未作成の有床診療所については、病床機能報告の報告内容から整理） ※4 病院の特徴・役割	今後の方針	機能別病床数(2025)	「具体的対応方針の見直し・検証」及び「構想区域全体の2025年の医療提供体制の検討」の検討結果 ※5 変更あり	変更なし	検討中	具体的な変更内容等
13	山口・防府	阿知須共立病院	135 一般 45 療養 90	135 急性 45 回復 90	135 急性 45 回復 90	45 地ケア 45			○			・急性期機能と回復期機能を担う。	・質の高いケアミックス病院として、地域医療機関等との連携を強化し、医療・介護・福祉サービスをシームレスに提供する。 ・地域住民の健康長寿を図るとともに、近隣企業からの要請に応じ、予防医療の強化を図る。	135 急性 45 回復 90		○		医療圏内人口動態推計では、65歳以上人口割合は2045年にかけて増え続け、また入院患者動態についても、2040年まで増え続ける見通しであり、山口市南西部に所在する当院の役割に変化はないと判断したため。
14	山口・防府	桑陽病院	99 一般 57 療養 42	99 急性 57 慢性 42	99 回復 57 慢性 42			○				・急性期機能と慢性期機能を担う。	・急性期病棟は、二次救急輪番病院としての救急医療の提供及び股関節・脊椎腰椎領域を中心とした整形外科の急性期医療の提供。 ・慢性期病棟は、透析設備を備えた長期入院が可能な病床の提供。	108 急性 60 慢性 48	○			機能別病床数：回復期57床　慢性期42床　計99床 に変更する。 現在は急性期57床、慢性期42床（うち回復期8床）で運営。急性期から回復期への転換について、2025年に向けて緩やかにシフトの予定であるが、2023年度、外科系医師が2名増員予定。それにより、若干提供可能な医療の内容の変更もあると考えられるが、基本的には急性期患者も内包する回復期機能の充実に向けて、一般病棟（現急性期病棟）における地域包括ケア病棟の整備に着手予定。
15	山口・防府	緑町三祐病院	86 一般 32 療養 54	86 急性 32 慢性 54	86 急性 32 慢性 54	15 地ケア 15		○				・急性期機能、回復期機能、慢性期機能を担う。 ・二次救急輪番病院。	・地域の2次救急病院として、救急患者の受入を行うと共に、後方支援病院として回復機能と、長期療養機能を担う。 ・現在の状況を維持し、質の向上を目指す。	86 急性 17 回復 15 慢性 54	○			・医療機能を地域の医療ニーズに引き続き適合させつつ、回復機能の充実に取り組むこととする。 ・機能別病床数を回復期32床、慢性期54床に変更する。
16	山口・防府	三田尻病院	128 一般 128	128 急性 78 回復 50	128 急性 49 回復 79	50 地ケア 50		○				・地域包括ケアシステムの中心施設となるべく、地域内の急性期の一部、並びに亜急性期の患者に特化した医療を提供する。 ・地域において急性期・回復期医療を担う病院としての役割を担うため、在宅復帰支援強化、地域医療連携の推進、疾病の早期発見と早期予防、災害拠点病院機能強化に取り組む。	・急性期・回復期における多様な診療ニーズへのさらなる対応の充実を図る。 ・災害拠点病院として必要な機能の補完、維持を図る。	128 急性 49 回復 79		○		
17	山口・防府	防府胃腸病院	120 一般 120	120 急性 60 回復 60	120 急性 60 回復 60	60 地ケア 60		○	○			・急性期機能と回復期機能を担う。 ・地域において当院に必要とされる病床機能の再編を検討し、急性期に加え、ポストアキュート・サブアキュートの両機能としての地域包括ケア病床を確保。不足する機能の中からリハビリテーション科を設置。	・輪番での二次救急の受入れ、消化器領域に特化したがん治療、がん検診含め上部・下部消化器への内視鏡検査等の機能を生かし、引き続き地域の二次救急医療機関として急性期機能を担っていく。 ・訪問診療・訪問看護等を実施しており、今後は地域における在宅医療への貢献も進めていく。	120 急性 60 回復 60	○			令和5年4月1日より回復期を60床から48床に変更。 変更後の病床数：急性期60床、回復期48床、計108床。 ※R5年2月 調整会議においてプラン変更合意済
18	山口・防府	防府リハビリテーション病院	311 療養 311	311 回復 46 慢性 265	261 回復 46 慢性 215	46 回リハ 46						・医療療養・回復期機能を中心	・医療療養・回復期を中心とした医療提供体制の維持 ・専門医療を提供し、地域医療に貢献	261 回復 46 慢性 215		○		
19	山口・防府	山口博愛病院	98 一般 53 療養 45	98 急性 53 慢性 45	98 急性 53 慢性 45							・急性期機能と慢性期機能を担う。	・地域における、安心して任せられるかかりつけ医機能を有する病院を目指している。当院が直接かかわる在宅機能を充実させるとともに急変時（特に夜間・休日）に、受診を受け入れ入院の必要が有る時にはすぐに対応する体制を整えておく。 ・へき地医療（離島・野島）の提供。	98 急性 53 慢性 45		○		以下のとおり、H30.9策定の2025プランで述べた病院の特徴・役割が今後も必要であると考える。 ・現在、当院所属の訪問看護、ケアマネージャーと連携して往診・訪問診療を行っており、かつ在宅患者の急変時には救急での入院対応も行っている。このことは、へき地住民（野島）や自衛隊からの要望に対しても行っている。（野島診療所・自衛隊診療所への定期的な診療の維持） ・また、救急で入院（急性期病棟）した患者の容態を考慮しながら病棟の移動（慢性期病棟）や在宅への復帰を法人内で情報共有しながら患者、地域に寄り添った医療を提供している。（急性期と慢性期に対する同じ病院内での対応の必要性） ・さらにこのような医療の仕組みを充実させることが将来の地域医療、かかりつけ病院のニーズとして必要と考えている。 ・すなわち、現体制の維持が、将来においても、ニーズに応える地域医療体制であると考えている。
20	山口・防府	山口県立総合医療センター	490 一般 490	490 高度 275 急性 156 回復 59	490 高度 275 急性 156 回復 59	35 地ケア 35	○	◎				・県立病院として、地域がん診療連携拠点病院、総合周産期母子医療センター、救命救急センター等の指定を受け、他の医療機関では対応が困難な疾病に対する医療を提供するなど、県民の健康と生命を守る基幹病院として、その役割を果たしている。	・県民の医療需要に応え、限られた医療資源の中で適切な保健医療サービスが提供できるよう、二次保健医療圏等における医療機能を考慮した施設の整備・充実、医療機関の役割分担や連携への支援など、効率的な医療提供体制の整備を進める。 ・地域の医療機関との役割分担・機能連携をより一層推進していく。	490 高度 275 急性 215		○		現行のプランは、「県立総合医療センター機能強化基本構想検討委員会」（県設置）において、「将来の人口動態・入院患者動態等」などを踏まえて検討された結果を受けて、策定したものであり、当面、変更する必要はないものと考えている。 今後、県による基本構想の策定に合わせ、当プランの変更の必要性について改めて検討する。
21	山口・防府	松本外科病院	80 一般 80	80 急性 36 回復 44	80 急性 36 回復 44	44 地ケア 44		○				・急性期機能と回復期機能を担う。	・5病院での救急輪番病院の一角として、今後も救急車の受入体制を維持していき、現在の急性期病床は、救急輪番病院として適正病床数を検討しながら維持していく。 ・地域における回復期機能の一翼を担う。	80 急性 36 回復 44		○		救急輪番病院の一角として、このまま受入体制を維持し、地域に貢献するため、変更しない。
病院小計			3,319 一般 2,088 療養 1,231	3,319 高度 544 急性 1,226 回復 624 慢性 925	3,188 高度 506 急性 1,097 回復 758 慢性 827	583 回リハ 170 地ケア 413	3	9	5	0	0			3,197 高度 506 急性 1,191 回復 667 慢性 833	6	14	1	
22	山口・防府	よしかね循環器内科	17 一般 11 療養 6	17 休棟 17	17 休棟 17				○			・慢性期機能を担う。	・地域における慢性期機能の一翼を担う。	17 休棟 17		○		
23	山口・防府	光山医院山口	3 一般 3	3 慢性 3	3 慢性 3						○	・人工透析治療が中心、透析ベッド数40床。 ・慢性期機能を担う。	・人工透析を必要とされる患者への治療を中心とした医療の提供体制を維持していく。	3 慢性 3		○		

整理番号	区域	医療機関名	許可病床数（精神・感染症・結核除く）R3.7.1 ※1	病床機能報告による機能別病床数 ※1		施設基準の状況 R3.7.1 ※2	認定・届け出等 ※3					「公的医療機関等2025プラン」又は「医療機関2025プラン」の記載内容のうち、「自施設の現状」「今後の方針」「4機能ごとの病床のあり方について」から集約・抜粋（（プラン未作成の有床診療所については、病床機能報告の報告内容から整理） ※4			「具体的対応方針の見直し・検証」及び「構想区域全体の2025年の医療提供体制の検討」の検討結果 ※5			
				R3.7.1	R7.7.1		地域医療支援	救急医療施設	在宅療養支援	在宅療養後方支援	終末期医療	病院の特徴・役割	今後の方針	機能別病床数(2025)	変更あり	変更なし	検討中	具体的な変更内容等
24	山口・防府	医療法人社団青藍会 あんの循環器内科	19 一般 19	19 回復 19	19 回復 19				○		○	・循環器を中心とした良質・効果的な全人的医療。 ・総合病院、地域の無床診療所、在宅からの患者をニーズに合わせて入院を受け入れていく。 ・急性期機能と回復期機能を担う。	・高度急性期病院・地域急性期病院との連携による在宅・介護施設への誘導、在宅医療の拠点としての機能。 ・専門的医療（循環器）、在宅患者、緊急時の受入れ、認知症患者の受入れと治療、在宅復帰支援。 ・他法人・グループ内の施設・在宅サービスとの他職種連携による地域包括ケアシステムの実現。	19 回復 19		○		
25	山口・防府	医療法人村田外科胃腸科	4 一般 4	4 急性 4	4 急性 4							・急性期機能を担う。	・肛門手術後の管理及び急性期治療のための入院。	4 急性 4		○		
26	山口・防府	ながやレディースクリニック	10 一般 10	10 急性 10	10 急性 10							・急性期機能（分娩）を担う。	・急性期機能（分娩）を担う。	10 急性 10		○		
27	山口・防府	澤田医院	19 一般 19	19 休棟 19	19 休棟 19							・休棟中（再開予定）。	・休棟中（再開予定）。	19 休棟 19		○		
28	山口・防府	社会福祉法人青藍会 ハートクリニック南山口	19 一般 19	19 回復 19	19 回復 19				○		○	・総合病院、地域の無床診療所、在宅からの患者をニーズに合わせて入院を受け入れていく。 ・回復期機能を担う。	・高度急性期病院・地域急性期病院からの退院患者の在宅・介護施設等への誘導、在宅医療の拠点としての機能。 ・在宅患者、緊急時、終末期医療の受入れ、認知症患者の受入れと治療、在宅復帰支援。 ・他法人・グループ内の施設・在宅サービスとの他職種連携による地域包括ケアシステムの実現。	19 回復 19		○		
29	山口・防府	医療法人小林眼科	3 一般 3	3 急性 3	3 急性 3							・急性期機能を担う。	・急性期機能を担う。	3 急性 3		○		
30	山口・防府	かしだ産婦人科クリニック	19 一般 19	19 急性 19	19 急性 19							・急性期機能（分娩）を担う。	・他の分娩施設との連携	19 急性 19		○		
31	山口・防府	林外科医院	19 一般 19	19 慢性 19	19 慢性 19				○		○	・慢性期機能を担う。	・引き続き、地域における慢性期機能の一翼を担う。	19 慢性 19		○		休棟予定
32	山口・防府	医療法人社団大西眼科	10 一般 10	10 急性 10	10 急性 10							・急性期機能を担う。	・急性期機能を担う。	10 急性 10		○		
33	山口・防府	手山産婦人科	10 一般 10	10 急性 10	10 急性 10							・急性期機能（分娩）を担う。	・産科施設の減少にて当施設のできる限りの存続に重点をおく。	10 急性 10		○		
34	山口・防府	山本内科医院	19 一般 19	19 慢性 19	19 慢性 19				○		○	・慢性期機能を担う。	・慢性期機能を担う。	19 慢性 19		○		
35	山口・防府	医療法人慶和会防府耳鼻咽喉科医院	14 一般 14	14 急性 14	14 急性 14							・急性期機能を担う。	・地域における急性期治療。	14 急性 14		○		
36	山口・防府	光山医院	16 一般 16	16 慢性 16	16 慢性 16						○	・透析患者専用の病床。 ・慢性期機能を担う。	・透析診療の提供体制の維持。 ・高齢化の進展に伴う在宅患者訪問診療の充実。	16 慢性 16		○		
37	山口・防府	医療法人三鳩会吉田整形外科	19 一般 19	19 回復 19	19 回復 19							・4機能のうち回復期が中心。	・地域における回復機能の一翼を担う。	19 回復 19		○		
38	山口・防府	医療法人芳和会アベ産婦人科クリニック	14 一般 14	14 休棟 14	0 廃止 0							・急性期機能（分娩）を担う。	・防府市では、分娩を取り扱う施設が少ない為、なるべく地域医療に貢献できる様に努力したいと考えている。	0 廃止 0	○			無床診療所へ移行する （現状：14床 ※休棟中）
診療所小計			234 一般 228 療養 6	234 高度 0 急性 70 回復 57 慢性 57 休棟 50	220 高度 0 急性 70 回復 57 慢性 57 休棟 36		0	0	5	0	6			184 高度 0 急性 70 回復 57 慢性 57	1	16	0	
医療圏合計			3,553 一般 2,316 療養 1,237	3,553 高度 544 急性 1,296 回復 681 慢性 982 休棟 50	3,408 高度 506 急性 1,167 回復 815 慢性 884 休棟 36	583 回リハ 170 地ケア 413	3	9	10	0	6			3,381 高度 506 急性 1,261 回復 724 慢性 890	7	30	1	

※1：令和3年度病床機能報告における病床数。

※2：中国四国厚生局「届出受理医療機関名簿（届出項目別）」において、【地ケア：地域包括ケア病棟入院料又は地域包括ケア入院医療管理料】、【回リハ：回復期リハビリテーション病棟入院料】を届け出ている病床数。

※3：【地域医療支援：地域医療支援病院の承認を受けた病院】、【救急医療施設：二次救急医療施設の認定を受けた病院は「○」、：三次救急医療施設の認定を受けた病院は「◎」】、【在宅医療支援：在宅医療支援病院又は在宅医療支援診療所の届出のある医療機関】、【在宅医療後方支援：在宅医療後方支援病院の届出のある病院】、
【終末期医療：令和3年度病床機能報告における「有床診療所の病床の役割」の項目のうち、「終末期医療」を選択している有床診療所】

※4：「機能別病床数(2025)」については、令和4年12月までに調整会議において合意された2025プランの内容を反映している。また、有床診療所については、「病床機能報告による病床数」の「R7.7.1」の機能別病床数を反映している。

※5：「具体的対応方針の見直し・検証」及び「構想区域全体の2025年の医療提供体制の検討」を行った結果、具体的対応方針（2025プラン等）について、①変更を行う場合、「変更あり」に○を付し、具体的な変更内容等を記載する。
②変更が必要ない場合、「変更なし」に○を付し、変更しない理由等を記載する。③検討中の場合、「検討中」に○を付し、可能な範囲で具体的な検討内容を記載する。